

第26回

住生活月間功勞者表彰名簿

平成26年10月

国土交通省住宅局

目 次

国土交通大臣表彰（個人）	1
国土交通大臣表彰（団体）	6
住宅局長表彰（個人）	1 0
住宅局長表彰（団体）	1 3

国土交通大臣表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
うえすぎ きよし 上杉 潔 (69歳)	(株) ユー・エステート 代表取締役社長	(公財) 日本賃貸住宅管理協会 理事	多年、住宅産業の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
うちだ ひさお 内田 久雄 (67歳)	(株) 内田設計事務所 代表取締役	元(社) 千葉県建築士事務所協会 会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
えんどう しょうご 遠藤 昭五 (72歳)	(有) 遠藤昭五建築設計 事務所 代表取締役	(一社) 山形県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
おおはし じんいちろう 大橋 仁一郎 (76歳)	㈱大橋工務店 取締役会長	元(一社) 福島県建築大工業協会 会長 元NPO法人南山匠の会 理事長	多年、住宅・建築関連産業の業務に精励するとともに、大工の伝統技術の保持・継承に特に力を入れ、後進の育成に尽力した。 また、福島県建築大工業協会会長在任中に起こった東日本大震災に際しては、木造の応急仮設住宅の供給に尽力した。

氏名	職名	関係団体役職	功績概要
かばた かずお 加葉田 和夫 (58歳)	株式会社ひまわりほーむ 代表取締役	(一社)石川県木造住宅協会 常任理事 (一財)住宅産業研修財団優良工務店の会(QBC) 幹事	多年、住宅・建築関連産業の業務に精励し、健康と高品質を目指した住まいづくりに積極的に取り組み、安心・安全な家の提供に努めるとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。 また、県内の住宅の品質向上等のため、毎年、合同住宅フェアを開催し、工務店相互の技術・品質向上に大きく貢献した。
くどう ただよし 工藤 忠良 (67歳)	(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター 参与	元(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター 常務理事 元(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター センター長	多年、住宅産業の業務に精励し、住宅紛争処理の参考となる技術的基準の検討を行うなど紛争処理体制の構築等に尽力するとともに、その後も様々な課題についての検討等を行うなど、住宅相談、紛争処理体制の構築から発展に寄与した。
こやす まこと 子安 誠 (55歳)	三菱地所ホーム(株) 取締役専務執行役員	(一社)住宅生産団体連合会法規制合理化委員会 副委員長 元国土交通省社会資本整備審議会 専門委員 元(社)日本ツーバイフォー建築協会 技術委員	多年、住宅産業の業務に精励するとともに、関係団体の委員として住宅業界の発展に寄与した。特に、今日その分野での第一人者として確固たる地位を占めている全館空調システムは、快適で健康な暮らしに寄与するものであり、日本の住環境向上に大きく貢献した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
しだ たかひで 志田 隆秀 (64歳)	(公財) 建築技術教育普及センター 常務理事		多年、関係団体職員として継続して勤務するとともに、常勤の役員として業界の発展に寄与した。
しもまえ けんじ 下前 建二 (57歳)	(有) アイデア設計 取締役	(一社) 鹿児島県建築士事務所協会 常務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
すぎはら あつし 杉原 敦 (59歳)	旭化成ホームズ(株) 渉外・技術部長	(一社) プレハブ建築協会 住宅部会技術分科会 幹事	多年、住宅産業の業務に精励するとともに、関係団体では技術分野の中心的役割を担い、プレハブ住宅の技術水準の向上に寄与した。また、60年点検システムのベースを開発したことで、長く安心して住まい続けられるロングライフ住宅の普及拡大に寄与した。
せとがわ のぶゆき 瀬戸川 信之 (57歳)	(有) アーキズム建築設計事務所 代表取締役	(一社) 福井県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
にしきおり あきお 錦織 亮雄 (76歳)	(株)新広島設計 代表取締役社長	元(公社)広島県建築士会 会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
にしきの もとのぶ 錦野 元伸 (66歳)	ニシキノ建築設計事務所 代表	元(一社)兵庫県建築士事務所協 会 理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
やなぎはら はるあき 柳原 春秋 (67歳)	(株)地域建築設計 代表取締役	元(一社)富山県建築士事務所協 会 常務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
よしやま けんすけ 芳山 憲祐 (67歳)	(株)大分住宅研究室 代表取締役	元(公社)大分県建築士会 会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。

国土交通大臣表彰（団体）

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>ゆうばりし 北海道夕張市</p>	<p>市長 鈴木 直道</p>	<p>公営住宅（建替） 「歩団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道夕張市 ・平成23～24年度 ・28戸（木造1階） 	<p>平成23年度「夕張市まちづくりマスタープラン」において都市拠点として位置づけられた清水沢地区において、都市のコンパクト化に向けた取り組みの第一段階として整備された。</p> <p>構造材や外装材等に地場産材を使用し、地域木材産業の振興、地域経済の活性化促進に寄与している。</p> <p>また、地元業者が施工できるよう統一モジュールを標準とする在来工法を採用するとともに、各住戸タイプの連結を自由にする事で、様々な型別供給への対応を可能としている。</p> <p>さらに、外気を二重天井内の換気チャンバーに入気し、天井面からの室内熱で暖めるシステムとしており、省エネに配慮している。</p>
<p>おおつちちょう 岩手県大槌町</p>	<p>町長 碓川 豊</p>	<p>災害公営住宅 「大ケ口地区災害公営住宅」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県上閉伊郡大槌町 ・平成25年度 ・70戸（木造1～2階） 	<p>東日本大震災で大きな被害を受け、住宅地・市街地面積の約半分が浸水したが、仮設住宅で暮らす多くの町民が安心して暮らせるよう早期に整備した。</p> <p>地場産材を使用し、地元産業の活性化を期待した。また、周囲との調和を図るため低層住棟とし、切妻屋根や外壁、木格子によりぬくもりある外観とした。</p> <p>住戸は住民同士で交流が生まれるように計画した。既存の市街地との接点に集会所と広場を一体的に利用できるようにして設置し、地域全体の交流の場となるようにした。住戸の南側には何気ない会話や交流が生まれるように縁側を設けた。</p> <p>大槌町初の災害公営住宅であり、今後の再生に向けての住まいづくりの指針的な役割を果たした。</p>

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>おながわちょう 宮城県女川町</p>	<p>町長 須田 善明</p>	<p>災害公営住宅 「運動公園住宅」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県牡鹿郡女川町 ・平成25年度 ・200戸（RC造3～4階） 	<p>災害公営住宅の建設にあたり、平坦な土地が少ない中、高台の陸上競技場跡地を活用し、大型団地を早期に整備した。（着工から11ヶ月のスピード施工）</p> <p>女川町のコンセプト「海に向かって開かれたまち」・「海の存在を最大限に生かすまち」を具体化するため、女川港に繋ぐ軸線上に「みんなの道」を整備し、建物高さを4階以下として港から高台への美しい眺望を維持するなど、周辺の景観に十分配慮した。</p> <p>住棟屋上に太陽光パネルを設置したり、県産材を外構部に積極的に使用し、環境に配慮した。</p> <p>コミュニティプラザを併設し、住棟内を車の入らない安全な共用空間とすることで、住民相互の自発的なコミュニティが形成されるように整備した。</p>
<p>しずおかし 静岡県静岡市</p>	<p>市長 田辺 信宏</p>	<p>公営住宅（建替） 「富士見団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県静岡市 ・平成11～25年度 ・280戸（RC造1～12階） 	<p>多世代にわたる人々が共に支えあいながら生活する「共生団地」のコンセプトのもと多様な施設（保育園、子育て支援センター、民設民営の特別養護老人ホーム、シルバーハウジング棟）を配置した。中央広場を介して子どもからお年寄りまで交流ができる。特別養護老人ホーム建設にあたってはプロポーザル方式で民間法人を誘致した。</p> <p>また、中央広場周りの歩道は透水性の材料を使用したり、広場は再生路盤材、根切土を流用するなど環境保護に配慮した。</p> <p>さらに、住棟妻側に外断熱工法を採用したり、バルコニー寸法を従来より広い寸法（1,800mm）とし、住環境向上に配慮した。</p>

団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>みはまちょう 三重県御浜町</p>	<p>町長 古川 弘典</p>	<p>公営住宅（建替） 「阿田和団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三重県南牟呂郡御浜町 ・ 平成25年度 ・ 20戸（PC造2階） 	<p>従前の3団地は軟弱な地盤上にあり、南海トラフを震源とした大規模な地震による津波被害の恐れのある地域であることから、入居者の安全を最優先して、海拔30m程の高台に移転し、建替えを行った。3団地の集約により、今後の維持管理コストを縮減している。</p> <p>また、少子高齢化対策として少数世帯向けの2DKを多く設ける一方で、子育て世帯向けの3DKも整備し若い世代の定住促進を図っている。</p> <p>住戸は、段差や手すり、スロープなどバリアフリー対策が行われている。また、断熱材やLED照明を使用し、環境に配慮し、コスト縮減を図っている。さらに、階下への遮音対策や防犯性能にも配慮している。</p>
<p>多摩ニュータウンエステート鶴牧4・5住宅管理組合 (株)長谷工リフォーム</p>	<p>理事長 江田 明</p> <p>代表取締役社長 鹿倉 克幸</p>	<p>分譲マンション（改修） 「多摩ニュータウンエステート鶴牧4・5住宅」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都多摩市鶴牧 ・ 平成24～25年度 ・ 356戸（RC造2～5階、昭和57年分譲） 	<p>昭和57年に現都市再生機構が分譲した大規模低中層団地型マンションにおいて、外断熱工法の導入等による省CO2改修を実施し、地球温暖化防止への寄与に併せて居住性能の大幅な向上や建物の長寿命化、ひいては資産価値の向上を実現するものであり、高経年マンションにおける改修事例として顕著な先導性が認められる。</p> <p>管理組合は、高齢者が多数を占める組合員の合意形成にあたって、住民説明会での説明の他、総会の直前まで、外断熱改修の仕組みや効果についてマンガを用いた広報誌やパンフレットを各戸に届けて説明を尽くす等、専門委員会を中心とした取組を効果的に実施した。</p> <p>また、(株)長谷工リフォームは、居住者の永住志向等を踏まえ省CO2改修を提案するとともに、国土交通省の住宅・建築物省CO2先導事業への申請を支援し、経済面を含め事業成立の目途を付ける等、多大なる役割を果たした。</p>

住宅局長表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
うすたに きくお 白谷 紀久雄 (63歳)	大和ハウスリフォーム(株) 取締役	(一社)プレハブ建築協会住宅部会 住宅・ストック分科会 幹事	多年、住宅産業に従事し、住宅リフォーム分野の確立に寄与するとともに、国民が安心してリフォームできる社会づくりに大きく貢献した。
おか やすあき 岡 靖明 (58歳)	(一社)環境共生住宅推進 協議会 事務局長	元(一社)プレハブ建築協会環境分 科会 代表幹事	多年、住宅産業に従事し、木質系工業化住宅の構造技術、生産等環境部門に大きく貢献するとともに、業界初の住宅ライフサイクル5段階における環境行動目標、CO2排出量目標設定に多大な貢献をした。
こばやし やすひと 小林 康人 (70歳)	(一社)プレハブ建築協会 PC建築部会 顧問	元(一社)プレハブ建築協会 中高層技術委員会 副委員長	多年、住宅建築事業の業務に精励し、PC部材の製造及び現場施工の分野に貢献することにより、わが国の集合住宅の質の向上・生産合理化に大きく寄与した。また、コンクリート系工業化住宅の発展と普及に尽力した。
ましこ のりお 増子 則雄 (66歳)	(株)増子建築工業 代表取締役	(一社)福島県建築大工業協会 副会長	多年、住宅建築事業の業務に精励し、県産材使用の普及に努めるとともに、気候、風土、歴史的環境等を考慮した住宅づくりに尽力した。また、職業訓練校等において技能指導を行ったり、木造建築の技能の継承を体系的に実施し、後進の指導にも尽力した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
ますざわ ゆきひろ 増澤 幸尋 (65歳)	(株) 増沢建築設計事務 所 代表取締役	元(一社)東京建築士会 理事	多年、関係団体において住宅相談に従事し、国民の 住生活の向上及び消費者保護に寄与した。

住宅局長表彰（団体）

団体名	代表者	対象事業	功績概要
<p>わっかないし 北海道稚内市</p>	<p>市長 工藤 広</p>	<p>公営住宅（建替） 「宝来団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道稚内市 ・平成15～24年度 ・80戸（RC造10階） 	<p>「環境都市わっかない」として、北海道内では初めて公営住宅の共用部分に蓄電池式太陽光発電を取り入れ、自然エネルギーを活用した先進的な団地である。</p> <p>隣接地に整備した宝来活動拠点センターにおいて、地域住民との交流を活性化する各種イベントを数多く実施しており、地域が一体となる新たなコミュニティ環境を構築し、著しく人口減少していた宝来地区における地域再生とまちなか居住の推進に寄与している。</p> <p>内装材に、調湿機能を持つ稚内珪藻（けいそう）頁岩（けつがん）を使用した石膏ボードを採用し、地場産材の積極的な活用を図り、地域経済の活性化に貢献している。</p>
<p>かしはらし 奈良県橿原市</p>	<p>市長 森下 豊</p>	<p>小規模住宅地区改良事業 「今井東地区」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県橿原市 ・平成16～23年度 ・不良住宅除却18戸 ・5戸（木造 1階） 	<p>当該地区は、橿原市今井町東部に位置し、重要伝統的建造物群保存地区の玄関口であるにもかかわらず、河川敷から法定外公共物（水路）の上部に24軒の不法占有物件が建築されていた。この物件は古いもので50年が経過し、建物の老朽化、居住者の高齢化等が進み、今井町の歴史的景観に対してのみならず、衛生面及び防災面からも早急な整備に取り組む必要があった。そのため、平成16～23年度の小規模住宅地区改良事業において、老朽化した不良住宅等を除却し、その跡地を河川公園（県事業）及び道路として整備することにより、住環境の改善を図った。また、除却した不良住宅の受皿住宅として、今井町重要伝統的建造物群保存地区内の空き長屋住宅（伝統的建造物）を活用した改良住宅を供給することにより、今井町地区の空き家住宅の解消及び街並みの景観保全を図った。</p>

団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
とさちょう 高知県土佐町	町長 西村 卓士	<p>地域優良賃貸住宅</p> <p>「舞田団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐郡土佐町 ・平成25年度 ・13戸（木造1～2階） 	<p>事前に高齢者対象のアンケート調査により、僻地に高齢者が多数存在する実態を把握した。その対応策として、団地の建設地を利便施設や医療施設の集中している中心部に計画した。子育て世帯用の住戸と、住人が共同で利用できる畑を併設し、年代を超えたコミュニティの形成を促すことで、「人の見守り」が行われる住環境を確保した。</p> <p>また、林業の再生を図るため、在来軸組工法の採用や内装の木質化により、地元の木材をふんだんに使用し、木の特性を感じられる団地とした。</p> <p>さらに、山間部に位置し冬の気温が厳しいため、高断熱仕様とし、室内外の温度差によるヒートショックの防止を図っている。</p>
さがらむら 熊本県相良村	村長 徳田 正臣	<p>公営住宅（建替）</p> <p>「永谷団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県球磨郡相良村 ・平成22～25年度 ・12戸（木造1～2階） 	<p>過疎地域に指定され、高齢化も進む相良村の少子化対策として、若年層や子育て世代を対象としたUIターンによる定住促進と地域コミュニティの活性化を図ることを目的として整備された。</p> <p>12戸中10世帯が子育て世帯で、2世帯が村外からの移住者である団地内には子どものにぎやかな声が響き、地域全体で子どもの育成を見守る動きがみられる。</p> <p>また、地場産材を活用し、特に床・腰壁には無垢材をふんだんに使用することであたたかみのある住空間を提供している。</p> <p>床下・天井には、山間部特有の寒暖差を考慮して、高性能の断熱材を使用し、省エネルギー対策等級4を満たす環境に優しい住宅を整備した。</p>